

東北大学陸上競技部

OB・OG通信

2022年No.3 (2022.7)

- ・第44回北日本学生陸上競技対校選手権大会
…女子砲丸投で畠山千果(4)が11m70の部記録更新
- ・第90回大阪陸上競技選手権
…女子ハンマー投で平谷めるも(1)が41m48の部記録更新
- ・第77回茨城県陸上競技選手権
…男子400mで齊藤宥哉(3)が48.06の歴代2位の好記録
- ・第77回宮城県陸上競技選手権
…男子300mで齊藤宥哉(3)が34.16の部記録更新
…男子1500mで村松兼志(M2)が3:55.57部歴代3位の好記録
…男子4×400mRで[齊藤(3)-佐藤千(4)-佐藤芳(5)-加地(M2)]が3:12.88の部記録更新
…女子800mで菅田理乃(2)が2:12.61の部記録更新
…女子400mHで山崎萌々子(4)が1:01:41の部記録更新
…女子4×400mRで[柄澤(M2)-山崎(4)-原田(2)-菅田(2)]が3:55.80の部記録更新

- ・第44回北日本学生陸上競技対校選手権大会 2～5ページ
- ・全国七大学対校陸上競技大会への抱負 6～8ページ
- ・各種大会結果 9～10ページ
- ・自己ベスト更新者 11ページ
- ・今後の予定 12ページ
- ・編集後記 12ページ

東北大学陸上競技部三秀会

〒980-0815 仙台市青葉区花壇2-1

東北大学評定河原グラウンド内

hukumu_tohoku_ob2sin@yahoo.co.jp

小暑の候、会員の皆様にはますますご発展のほどお喜び申し上げます。今号では、北日本インカレの結果、七大会への抱負ならびにコロナ禍で開催された各大会における選手の活動を報告いたします。

本年も変わらぬご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

◎第 44 回北日本学生陸上競技対校選手権大会・・・厚別陸上競技場 [7/2(土)-3(日)]

7/2(土)-3(日)の2日間にわたり厚別陸上競技場にて第44回北日本学生陸上競技対校選手権大会が開催されました。出場選手は少なかつたものの、自己ベストを更新する選手が多数おり、非常に収穫のある大会となりました。以下入賞者一覧と、出場者の観戦記となっております。

入賞者一覧

男子 800m	2 位	大塚光陽(2)	男子 110mH	8 位	齋藤晃汰(3)
男子 1500m	4 位	村松兼志(M2)	男子 3000mSC	6 位	阿部圭宏(4)
男子 10000m	8 位	児玉健太(4)	女子砲丸投	5 位	畠山千果(4)
男子 10000mW	4 位	辻本隆文(4)	女子円盤投	7 位	畠山千果(4)
男子十種競技	7 位	根本大輝(3)			
	8 位	米井潤風(M1)			

男子 100m 予選

1-8 5 着 元木盛太(2) 11.31(+0.7)

男子 200m 予選

2-8 6 着 吉田陸人(4) 23.00(+0.7)

スタートから徐々に加速したが、内側の4人には50m付近で既に先を許してしまった。コーナー抜け付近で9レーンの選手と並んだが、ラスト50m付近で競り負け、離された。そして2レーンの選手にあと少しで追いつくかというところでゴールした。結果的には自己ベストだったが、課題が散見されるレースだった。

3-9 5 着 佐藤芳樹(5) 22.73(+1.6)

6-9 5 着 柴原朋也(M1) 23.05(+1.3)

男子 400m 予選

1-4 2 着 佐藤芳樹(5) 50.31Q

男子 400m 準決勝

1-7 6 着 佐藤芳樹(5) 49.70



自己ベストの走り 佐藤芳(5)

男子 800m 予選

1-4 1 着 大塚光陽(2) 1:54.13 Q

1周目を5番手で通過。そこから少しずつ順位を上げ、650m地点で先頭に立ち1着で予選通過を決めた。

5-4 3 着 谷口尚大(M2) 1:56.80

200m時点で3着につけ、集団は縦長になる。その後徐々に集団がばらけて、先頭集団は4人になる。

残り 300m 地点で順位を 1 つ上げて 2 着になり、ラストスパートをかけるも先頭を抜ききれず、1 人に抜かれ 3 着でゴール。

6-8 2 着 松岡陽太 (M1) 1:59.14

男子 800m 決勝

1-5 2 位 大塚光陽 (2) 1:53.99

ブレイク直後から後方でレースを進め、600m を 4 番手で通過した。600m 以降先頭 4 人でのスパート合戦の中、1 度先頭に並ぶもゴール直前に競り負け 2 着でゴールした。



表彰台の様子 大塚 (2) [左下]

男子 1500m 予選

1-8 2 着 村松兼志 (M2) 4:13.30 q

スタート後スローな展開となり、3 番手につける。900 m あたりで先頭が変わった後も位置をキープし 4 番手でラスト 1 周に入る。ラスト 300 m でのペースアップについていき上位 3 名が確定したところで後ろの様子をうかがいながらリラックスしてフィニッシュ。余裕度を残した状態で決勝に進出できた。

2-12 12 着 菅野耀広 (M1) 4:30.91

3-5 6 着 稲川亮太 (3) 4:11.72

スタートし 100m で急にペースが落ちるが、200m からは一定のペースでレースが進んだ。ラスト 400m で先頭のペースが上がり自分もラスト 300m でペースを上げるが、差は縮まらずゴールした。

男子 1500m 決勝

4 4 位 村松兼志 (M2) 3:58.95

ハイペースな展開でレースが始まり、先頭集団の真ん中あたりに位置取る。1 周目通過後に 2 つに分かれた集団の後ろ側の先頭を引っ張る。2 周目の間

に先頭に追い付き再度大きな集団となる。3 周目は集団のやや後方の 8 番手でラスト 1 周に入る。じわじわとポジションを上げていきラスト 200 m 地点で 6 番手まで順位を上げる。そこからさらに 2 人をおかわして 4 位でフィニッシュ。大学 3 年生ぶりに 3 分台 and 自己ベストを更新することができた。

男子 5000m タイムレース決勝

1-19 16 位 野地健太郎 (2) 16:41.89

1-18 22 位 高野陽向 (2) 17:07.97

2000m までは先頭についていいペースで走ることができたが、暑さ慣れしていないことが原因で大幅な失速をした。後半も上がりきらぬままゴールした

男子 10000m 決勝

8 位 児玉健太 (4) 33:35.99

スタートから 3000m まではオーバーペース気味ながらも集団に着きレースを進める。その後集団から離れた。単独走となったものの前から落ちてくる選手を拾い徐々に順位を上げた。ラスト 1 周で 8 位の選手を捉えスパートで引き離し 8 着でゴール。

13 位 緑川翔太 (3) 35:06.32

14 位 白井駿斗 (M2) 36:22.55

1000m まで集団の最後方に位置し、その後 1000m から 2000m は女子の先頭に着く。2000m から 5000m は 3' 30" のペースで女子の先頭を引き、男子とは離される。その後は単独走となり、徐々にラップタイムを落とし、ラスト 1000m は 3' 34" まで上げてゴール。

男子 110mH 予選

1-6 2 着 齋藤晃汰 (3) 14.95 (+0.0) q

男子 110mH 決勝

1-2 8 位 齋藤晃汰 (3) 15.16 (-1.0)

男子 3000mSC タイムレース決勝

2-3 6 位 阿部圭宏 (4) 9:50.92 (組 5 着)

終始無理なく落ち着いたレース運びができたと思う。2000m を 6' 30 付近で通過できたので大幅な PB を確信した。ラスト 1000m で力のある選手達とは離されてしまった。ハードリングに課題があり、走力でカバーしているところもあった。

1-8 9 位 鳥山拓実 (2) 10:05.08

1-10 14位 小林由輝(2) 10:18.91

初めの一周はハードルに足が合わず、集団から離れてしまった。タイムはあまり気にせず2000mまで前の集団との差を保ち、ゴール前で最後尾に追いつくが、抜かすことができずにゴール。

男子10000mW 決勝

12 4位 辻本隆文(4) 47:45.35

気温が30℃近くあるという10000mWにとっては過酷なコンディションだったため、タイムより順位を意識したレースをすることにした。初めは4位集団でレースを進め、4000m付近からは他の選手がDNFしたこともあって単独4位になった。ラストはペースが落ちた3位の選手に追いついたが、その勝負には勝てずに4位でゴールした。タイムは振るわなかったが、暑い中でのレースとしては悪くなかった。

男子走幅跳

10 26位 柏木俊希(3) 6m17(+0.6)

まずまずの跳躍。着地が上手かったのと、直前の加速が良かったという印象。

1本目 6m17(+0.6) ひとまずUBであった。

2本目 5m99(+0.4) 少し板が遠く感じ、間伸びした。上に浮けなくて、そのまま着地。

3本目 F 数センチファール。着地は上手かったが、直前の加速があまり良くなかった。

男子三段跳決勝

15 11位 柏木俊希(3) 13m13(-2.6)

1本目 F

動きは良かった。ジャンプで体勢崩れて実測13半ばにとどまったが、ホップ-ステップで9mを越していたのと、感覚的にもステップまでは14m跳ぶ時の感じに近く、なかなか良かった。

2本目 13m13(-1.6)

板を踏んでおらず、体感的にも遠かった。1本目と動きのキレが違って、疲労感のある動きだった。

3本目 F

かなりギリギリのラインでファール。飛距離としても伸びはなかった。

男子走高跳決勝

3 毛内達也(3) NM

率直に実力不足。最近ようやく人並みに努め始めたが、自分は今まで寝ていたのだろうかという結果。二本目が時間切れで無効になったのも痛い。一位の中島選手の体にはよく筋肉がついていて、児玉選手と「高跳びたのしいっすねー！」と話し合っていた。自分もそう思える結果を、跳躍をしたい。

男子砲丸投決勝

2 18位 川内蒼馬(2) 9m70

男子やり投決勝

5 川内蒼馬(2) NM

男子十種競技総合順位

7位 根本大輝(3) 5734点

1日目 不得意とする100mと走幅跳でPBをマーク。3,4種目目の砲丸投と走り高跳びでは10m05cm, 180cmと伸び悩む。1日目終了時点で3272点で折り返し。

2日目 6種目目の110mHでは15.74, 円盤投げでは27m86, また棒高跳びではセカンドベストの3m40, 槍投げでは右肘の怪我により左で投げて23m10。1500mでは4:50.21で617点を獲得し総合5734点で7位に終わった。



1500m終了後の根本(3)

8位 米井潤風(M1) 5417点

あまり走練を積めていない中での試合であったが、1日目の初めから気持ち的にはとても好調であった。北日本インカレを大学院陸上の第1の一番ととらえていたので試合前からかなり集中できていたし、各種目で自分が何をどうしたいのかがある程度明確であったことが精神の安定につながったと思われる。さらに2日間の競技を通して楽観的であった。ただ、練習できたこととそうでないこ

とが明確に分かれていたことも体感した。例えば100m ではスタートはよかったが後半はひどい走りになったし、110mH は第一ハードルの突っ込みはうまくいったがインターバルで詰まりすぎて足がさばけなくなる事態に陥ってしまった。走幅跳では上方向への跳躍を意識しすぎて遠くへ跳ぶことを忘れてしまった。砲丸投は公式練で10m 投げたのに本番になると8m50 しか飛ばなくなってお得意の「ファール恐怖症」が出てしまった、…などなど、いわゆる「惜しい」試合がとても多かったと感じる。これができる/できないだけで300 点くらい変わってしまうのだから十種は奥が深い。しかし、円盤投は31m を超えて大幅PB、1500m でも4:50 を切って東北IC より5秒伸ばしてPB、どちらも3位になるなど結果がしっかり出た競技もあった。総合得点も去年の中四国IC から200点PB であった。総じて今回の試合は「楽しかった」。いろんな方から楽しそうだったと言われたので多分心から楽しめていたのだろう。課題も非常に明確に見つかったので試合に出た価値は大きい。ただ、目標の5600 点には達しなかったのが、次の試合(まだ決めてないですがおそらく27大戦)では、必ず達成します。



笑顔でM1 ポーズをする米井(M1)

男子十種競技 100m

2-6 3着 根本大輝(3)11.65(+0.9)721点

2-8 5着 米井潤風(M1)12.04(+0.9)643点

男子十種競技走幅跳

4位 根本大輝(3)6m72(+1.4)748点

12位 米井潤風(M1)6m08(+1.8)604点

男子十種競技砲丸投

4位 根本大輝(3)10m05 489点

10位 米井潤風(M1)8m53 398点

男子十種競技走高跳

3位 根本大輝(3)1m80 627点

6位 米井潤風(M1)1m75 585点

男子十種競技 400m

2-6 3着 根本大輝(3)52.88 687点

2-7 4着 米井潤風(M1)53.38 665点

男子十種競技 110mH

2-2 6着 米井潤風(M1)17.64(+0.7)559点

3-2 5着 根本大輝(3)15.74(+1.4)762点

男子十種競技円盤投

3位 米井潤風(M1)31m71 498点

7位 根本大輝(3)27m86 423点

男子十種競技棒高跳

7位 根本大輝(3)3m40 457点

10位 米井潤風(M1)3m00 357点

男子十種競技やり投

9位 米井潤風(M1)42m49 478点

14位 根本大輝(3)23m10 203点

男子十種競技 1500m

3位 米井潤風(M1)4:48:15 630点

6位 根本大輝(3)4:50:21 617点

女子砲丸投 決勝

3 5位 畠山千果(4)11m70 [部記録]

高校時に出したPBをやっと更新することができました。申請記録では10位と、3投目までにPB相当の記録を出す必要があるという非常に難しい試合でしたが、3投目に11m13という記録を出し、8に残ることができました。そして、4~6投目には記録をさらに伸ばそうと思いきった投げをすることができました。今後はさらに体のキレを出し、素早く力強い投げができるよう練習していきたいと思えます。

女子円盤投 決勝

5 7位 畠山千果(4)31m83

東北インカレで出したPBを少しですが更新することができました。今回は初めて試合でターンをしましたが、スタンディングの方が記録がよく、ターンで記録を伸ばすことができませんでした。今シーズン、残り数試合出場する予定なので、記録を伸ばしていけるよう練習を頑張ります。

◎七大戦に向けて

二年ぶりの開催となる全国七大学対校陸上競技大会、通称七大戦が7月30日(土)、31日(日)の二日間にわたって仙台市陸上競技場にて開催されます。誠に残念ながら、無観客開催のため、多くの方に観戦していただくことはできませんが、開催に当たって尽力して下さったすべての方に感謝をしながら競技を行いたいと思います。以下主将、女子主将、各PCからの抱負です。応援の程よろしく願いいたします。

主将 佐藤千仁(4)

今年の七大戦における目標は、「男女総合優勝」です。これは、決して形式上の目標ではなく、今のチーム力から達成可能であると判断したものです。

昨年からパートキャプテンはよく頑張ってきました。冬のコロナウイルス感染症再拡大による活動制限の中でも、最大限の練習環境を提供していたと思います。そうしたパートキャプテンたちの努力に応えるかの如く、今シーズンは多くの選手が活躍しています。とりわけ6月の東北インカレでは、男女ともに過去最高成績を収めました。あとはこの勢いを、主管開催の七大戦という晴れ舞台でピークにもっていくのみです。

七大戦は総力戦です。選ばれた選手はもとより、補欠の選手、サポートの選手、運営協力の部員、マネージャー、それぞれがこの大会へ向けて気持ちを高め、できることを理解し、最後まで戦い抜きましょう。今の努力は、必ず、これからの部および部員それぞれの力になります。

最後になりますが、総合優勝を掲げられるチームの主将を務められたことに、心から感謝します。任期は残りわずかですが、力を尽くしていきますので、ご協力をよろしくお願い致します。

最大限の気合を込めて。

女子主将 大宮日菜子(4)

OB・OGの皆様、いつも応援してくださり有難う御座います。女子主将を務めております大宮日菜子と申します。

女子パートの七大戦の目標は**総合優勝**です。昨年京都大学さんに敗れ2位になったときから一年間、この目標を全員で意識しながら練習に取り組んできました。6月の東北インカレで総合3位をとることができ、7月に入ってから自己記録更新、部記録更新、全日本インカレ標準突破など調子を上げることができています。もちろん他大学は強敵ではありますが、ひとりひとりができることを積み重ねて、7年に1度の東北大主管の七大戦で総合優勝を勝ち取ります。

これからもご声援の程よろしく願いいたします。

短距離PC 齊藤宥哉(3)

七大戦をもっとも大きな目標に据えて冬季練習を乗り越えてきたと言っても過言ではありません。そして私たちは短距離ブロック優勝を全力で狙います。頭を使い、「正しい努力」を積み重ねてきたという十分すぎる自信を胸に、過去最高のレースをし、他大を圧倒することを誓います。これまでサポートして下さったすべての方々への感謝を込めて。

ハードルPC 齋藤晃汰(3)

お疲れさまです。ハードルPCを務めています、齋藤 晃汰です。日頃より多大なご支援を賜り、誠にありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。

さて、遂に七大戦のパート抱負の執筆を依頼され、時の流れに驚きを隠せません。一年前に京都の地にて中村前 PC がパート優勝を成し遂げた後に役職の引き継ぎを行いました。正直なところ、当時は不安よりも自信が勝っていました。しかし、いざ PC と呼ばれるようになってからは、自身のあらゆる面における「弱さ」が露呈し、思うようにチームを引っ張ることができませんでした。時には、陸上に取り組む理由を見失い、仲間と衝突することもありました。しかし、「七大戦で勝ちたい/勝たせたい」という思いが不変で有り続けたからこそ、何度も自分を奮い立たせることができました。また、ハードルパートの仲間は一度も私を見捨てることなく着いてきてくれました。走る度に PB を更新する姿や、念願の目標を達成する姿に、何度も救われました。微力ながら私がこれまでやってきたことは間違えではなかったのかなと思います。

昨年の代替試合もかなりのハイレベルの戦いでしたが、今年はそれを遥かに上回る厳しい戦いが予想されます。最後の 1 台を越え、ゴールラインを駆け抜けるまで、各々が持つ最大の力を出し切り、今年もパート優勝を達成し、チームの総合優勝に貢献します。

ハードルパートの活躍にご注目ください。応援よろしくおねがいします。

中距離 PC 富田綾人 (3)

今年の七大戦の目標は「全種目複数人入賞」でしたが、少なくとも 1 人ずつは入賞を目指して頑張ります。七大の中距離はかなりハイレベルとなっており、目標達成の可能性は想定より低くなってしまいました。しかし、東北大学の中距離パートはみんな勝負強いので、必ず勝ってくれると信じています。最後まで諦めずに走り抜きますので、応援よろしくおねがいします。

長距離 PC 坂本順 (3)

長距離 PC の坂本順です。平素より大変お世話になっております。長距離パートはトラックシーズン一番の目標として七大戦を目標に活動してきました。今シーズンは春先からスピード強化に重点的に取り組み、東北インカレや北大戦では昨年以上に良い結果を残すことが出来ました。

七大戦でもこの勢いそのままに、1 点でも多く獲得して部の目標に貢献できるように頑張ります。

また、9 月には全日本大学駅伝東北予選会が控えています。七大戦をトラックシーズンの集大成と位置づけ、予選会に向けて弾みの着くような大会にできるよう、パート一丸となって精一杯戦います。応援よろしくお願ひします。

跳躍 PC 大谷航平 (3)

跳躍パートの七大戦での目標は「正選手全員得点」「跳躍ブロック優勝」です。

昨年の七大戦では各選手とも健闘しましたが、惜しくも他大学に屈する形となりました。昨年のリベンジを果たすべく、この一年間各々が考えて練習を行い、日々努力を重ね、記録の更新へと繋げてきました。実際、春の段階では他大学との差が大きかった種目に関しても、ここ数ヶ月間の選手のベスト更新により、十分勝負できるラインまで来ていると思います。また、正選手争いに関してはかつて無いほどの激戦となっており、互いに競い合う中でここからもう 1 段階記録が伸びることも期待されます。

今現在、跳躍パートは良い軌道に乗っていると自信を持って断言できます。七大戦では全員が全力を尽くし、少しでも上の順位を目指して戦ってきますので、応援のほどよろしくお願ひします！

投擲 PC 畠山千果 (4)

いつもお世話になっております。投擲 PC の畠山千果です。

投擲パートの七大戦の目標は、**男子 10 点女子 11 点獲得**することです。今シーズンは強力な新入生の加入もあり、とても良い流れができています。また、今大会では久しぶりに全種目にエントリーする予定となっています。昨年までは新型コロナの影響もあり、複数種目に出場するほどの練習が積めていないのが現実でした。しかし、今シーズンは投擲 4 種目に取り組む部員がそれぞれおり、切磋琢磨し合うことができています。七大戦では、それぞれの部員がベストを尽くし、活躍すること間違いなしです！
応援よろしくお祈りします！

競歩 PC 辻本隆文 (4)

今年の七大戦は主管開催であり、2 年ぶりであるのに加えて、個人的には対校選手として初めて出場する七大戦でもあるので、とても楽しみです。さて、今年の七大戦での競歩パートの目標は 3 位以内に入っているの得点獲得です。昨年の七大戦の代替大会は 4 位という結果だったので、今年はそのを超える順位を取りたいと思って一年間練習してきました。ただ、3 位以内を取るのとはそう簡単ではないです。今年の七大学の競歩選手の力はそれなりに拮抗しており、少しでも失敗してしまうと 3 位以内はおろか得点の獲得すらできなくなってしまうと思います。なので、七大戦本番をベストな状態で迎えて最高の歩きができるように残りの練習を頑張りたいと思います。また、競歩は 2 日目の一番最初のトラック競技なので、チームに勢いを付けられるようにも頑張ります。

ここまで七大戦での競歩パートの目標を述べてきましたが、ご存じの通り現在の競歩パートの部員は私のみです。そのため、少なくともこの記事を書いている段階では今年の七大戦の競歩に出場するのも昨年同様に私一人の予定ですが、昨年からはほぼ一人で練習してきましたが、ここまで頑張れたのは競歩パート OBOG の存在が非常に大きいです。卒業してからも私のことを気にかけてくれたり、仙台まで来て練習に付き合ってくれたり本当に有り難い限りです。七大戦で結果を出すことでその感謝を示したいと思います。

マネージャー PC 阿部綺星 (3)

ボスマネを務めているマネージャー 3 年の阿部綺星です。

マネージャーパートの七大戦の目標は、「**選手が活躍できる最高の舞台を作ること**」です。マネージャーは走ったり、歩いたり、跳んだり、投げたりして点数を稼ぐことはできませんが、選手が活躍し点数を獲得するサポートを通して部に貢献することはできます。そして、七大戦までの各選手の頑張りを見てきたマネージャーだからこそ、応援し、支える気持ちは選手にも負けないと思っています。

選手が競技だけに集中できる環境を提供し、選手にとって最高の舞台となるようなサポートをマネージャー一同全力で行いたいと思います。多くの部員の笑顔がはじけることを楽しみにしています！

最後に七大戦 2022・陸上競技の HP が開設されました。現時点で、結果速報や配信を行う予定です。ぜひご利用ください。以下ホームページの URL です。

<https://sites.google.com/view/7univ2022tf>

○各種大会

全国男鹿駅伝競走大会第 52 回大学大会・・・秋田県男鹿市 [6/25 (土)]

6/25(土)に秋田県男鹿市にて全国男鹿駅伝競走大会第 52 回大学大会が開催されました。本大会はコロナ渦の影響で 2019 年以来の開催となりました。連戦かつ強風の吹く悪条件の中でしたが、全日本大学駅伝予選会に向けての課題を見つけることができました。以下結果と観戦記となっております。

総合成績：9 位 3:40:00

1 区 13.4km	2 区 11.8km	3 区 7.5km	4 区 3.8km	5 区 8.2km	6 区 9.9km	7 区 10.1km
安本尚生(2) 45:31[10] 45:31[10]	工藤大介(4) 1:26:51[10] 0:41:20[9]	坂本順(3) 1:51:21[10] 0:24:30[10]	藪下温司(M1) 2:06:18[10] 0:14:57[8]	深澤昇悟(2) 2:32:38[10] 0:26:20[9]	向田祐翔(2) 3:05:48[9] 0:33:10[8]	田沼怜(M2) 3:40:00[9] 0:34:12[7]

○レース展開

長距離区間の 1 区を安本が、最もコースの険しい 2 区を工藤が走った。他の大学や一般チームもこの区間にエースを投入しており、連戦が続く中で挑んだ我々にはかなりタフなレースとなった。しかし、二人とも大きく崩れることなく、粘りの走りを見せてくれた。序盤は山形大学に後れを取り、5 区まではリードを許す展開となった。藪下、深澤の力走で少しずつ差を縮め、6 区の向田で逆転に成功した。アンカーの田沼もそのまま逃げ切り、総合 9 位でのフィニッシュとなった。

○よかった点

この時期に大きな駅伝レースを経験できたこと自体に価値があると感じた。レースを走った選手はもちろん、8 番手以降の補欠選手にも今後の駅伝シーズンを見据えるいい機会になったのではないかと思う。

また、安定した走りのできた選手が多かったのも良かった点のうちの一つだ。予選会は一人も失敗できないという状況で挑むレースであり、選手には安定して結果を残す力が求められる。そういう意味で、多くの選手が大崩れせずうまくまとめることができたことは非常に良かったと思う。

○反省点

8 位入賞を目標にして臨んだが、達成とはならなかった。高い目標として掲げてはいたが、関東の私大との実力差を痛感した。

また、山形大学に何とか勝利することができたが、タイム差はあつてないようなものであり、あぐらをかいては簡単に負けてしまう状況であると感じた(この時期にそれが分かったという意味ではよかった点でもある)。今後さらに練習に励んでいかななくてはならないと痛感した。

○終わりに

非常にタフなコースであるが、関東の強豪校も参加するレベルの高い大会であり、いい経験ができた。レースで得られた経験、課題を今後の駅伝シーズンに活かしていきたい。

また、大会関係者、並びに監督車によるサポートをしていただいた真山さんや健二さん、補欠の部員には大変お世話になった。この場を借りて感謝申し上げたい。

川崎市制記念市民陸上競技大会

…川崎市等々力陸上競技場 [6/19 (土)]

一般男子 100m 予選

11-4 2着 元木盛太(2)11.52(-1.6)q

一般男子 100m 準決勝

3-2 3着 元木盛太(2)11.25(-0.4)

第90回大阪陸上競技選手権

…ヤンマースタジアム長居 [6/24 (金)]

女子ハンマー投決勝

7 11位 平谷めるも(1)41m48 [部記録]

第75回長野県陸上競技選手権

…松本平広域公園陸上競技場 [6/25 (土)]

女子 400mH 予選

1-6 2着 山崎萌々子(4)1:03.57Q

女子 400mH 決勝

1-6 5位 山崎萌々子(4)1:02.32

第77回埼玉県陸上競技選手権…熊谷スポーツ文化公園陸上競技場 [6/26 (日)]

男子 400mH 予選

1-8 2着 岡田幹太(3)54.25q

男子 400mH 決勝

1-9 7位 岡田幹太(3)54.46

第77回茨城県陸上競技選手権…笠松運動公園陸上競技場… [7/1 (金) ~ 3 (日)]

男子 400m 予選

1-6 2着 斉藤宥哉(3)48.06q [歴代2位]

男子棒高跳決勝

3位 島村葵惟(1)4m50

女子 110mH 予選

1-8 4着 柄澤菜々美(M2)16.50(+0.2)q

女子 110mH 決勝

2 8位 柄澤菜々美(M2)16.40(+0.7)

女子 400mH 予選

2-5 1着 柄澤菜々美(M2)1:08.89

女子 400mH 決勝

5 2位 柄澤菜々美(M2)1:07.73

第93回栃木陸上競技選手権…栃木県総合運動公園陸上競技場 [7/1 (金) ~ 3 (日)]

女子棒高跳決勝

7位 村尾愛乃(2)1m80

女子走幅跳決勝

13位 村尾愛乃(2)4m24(+1.0)

男子 100m2部 TR 決勝

8-9 大根田浩司(2)12.09(-0.8)

男子走幅跳決勝

8位 細島(4)6m91(+2.5)

男子走幅跳2部決勝

3位 山中勇利(3)6m32(+0.3)

18位 坂本泰(2)5m75(-0.6)

男子 110mH 予選

2-7 2着 鈴木健太(M2)15.25(-1.6)Q

男子 110mH 決勝

1-9 6位 鈴木健太(M2)15.14(-0.9)

男子 400mH 予選

1-4 1着 加地拓哉(M2)54.06Q

決勝 雷雨のため中止

2022 群馬県陸上競技選手権

…正田醤油スタジアム群馬 [7/3 (土)]

男子 200m 予選

2-9 3着 上村赳之(M1)21.87(+0.5)

男子 200m 決勝

1-8 5位 上村赳之(M1)21.64(+2.5)

第61回秋田県陸上競技選手権

…中央公園県営陸上競技場 [7/3 (日)]

男子三段跳

19 2位 大谷航平(3)13m93(+0.4)

男子 400mH 決勝

8位 金岡有途(1)1:03.10

第77回宮城県陸上競技選手権

…仙台市陸上競技場 [7/7 (木) ~ 7/9 (土)]

男子 100m 予選

3-4 3着 八巻隼人(M2)11.21(+0.9)

男子 300m 決勝

3-7 2位 斉藤宥哉(3)34.16 [部記録]

男子 400m 予選

1-5 4着 菅野涼太(1)50.76

3-4 4着 片桐大智(M1)59.86q

3-3 5着 佐藤芳樹(5)59.88

男子 400m 決勝

1-1 6着 片桐大智(M1)50.32

男子 800m 予選

1-2 2着 富田綾人(3)1:59.90

5-3 2着 千葉琢巳(4)1:55.49q

5-4 3着 谷口尚大(M2)1:56.10q

男子 800m 決勝

1-2 5位 谷口尚大(M2)2:00.02

男子 1500m タイムレース 決勝

2-3 9位 村松兼志(M2)3:55.57

[部歴代3位]

男子 110mH 予選

1-7 5着 中村祐貴(4)16.39(-1.1)
2-4 1着 齋藤晃汰(3)15.01(-1.1)Q
2-7 6着 西里碧澄(1)16.00(-1.1)

男子 110mH 決勝

1-6 3位 齋藤晃汰(3)14.88(-1.2)

男子 400mH 予選

1-5 3着 岡田幹太(3)54.61Q
2-5 2着 加地拓哉(M2)53.15Q
2-3 4着 二ノ神遼(5)55.22

男子 400mH 決勝

1-5 4着 加地拓哉(M2)52.95
1-8 5着 岡田幹太(3)54.00

男子 4×400mR 予選

1-2 1着 3:16.40Q
菅野(1)-加地(M2)-片桐(M1)-佐藤千(4)

男子 4×400mR 決勝

1-4 2着 3:12.88GR [部記録]
斉藤(3)-佐藤千(4)-佐藤芳(5)-加地(M2)

男子走幅跳決勝

21 10位 細島慎友(4)6m75(+2.5)
9 13位 古俣諒大(6)6m64(+1.6)

男子三段跳決勝

8位 藤田想(2)13m88(+0.3)
9位 柏木俊希(3)13m65(-0.8)
10位 久保田大聖(2)13m54(+0.9)
16位 堀越鉄平(1)12m78(-1.0)

男子走高跳決勝

4位 平山朝陽(2)1m94

男子棒高跳決勝

7 6位 野田耀司(4)4m10

男子砲丸投決勝

4 3位 大野誠尚(M1)11m63

女子 100m 予選

1-7 5着 菊池志乃(1)12.92(+0.9)

女子 200m 予選

2-4 4着 菊池志乃(1)27.00(+1.5)

女子 400m 予選

1-5 2着 菅田理乃(2)59.62Q

女子 400m 決勝

1-6 1位 菅田理乃(2)56.81

女子 800m 予選

1-6 1着 菅田理乃(2)2:12.61 [部記録]

女子 800m 決勝

1-5 8位 菅田理乃(2)2:25.76

女子 400mH 予選

1-4 1着 山崎萌々子(4)1:01.94Q
1-7 3着 柄澤菜々美(M2)1:05.83
1-2 5着 加賀谷美結(1)1:09.65

女子 400mH 決勝

1-4 4位 山崎萌々子(4)1:01:41 [部記録]

女子 4×100mR 予選

2-7 3着 50.20q
柄澤(M2)-山崎(4)-伊藤(3)-菊池(1)

女子 4×100mR 決勝

2 5位 50.41
柄澤(M2)-山崎(4)-伊藤(3)-菊池(1)

女子 4×400mR 予選

2-5 1位 4:06.09Q
柄澤(M2)-山崎(4)-原田(2)-菅田(2)

女子 4×400mR 決勝

1-3 2位 3:55.80 [部記録]
柄澤(M2)-山崎(4)-原田(2)-菅田(2)

女子走幅跳決勝

7位 伊藤未空 5m22(+1.4)

女子三段跳決勝

4位 須藤桃由 10m82(-0.9)

女子走高跳決勝

12 5位 原田萌々子(2)1m56

第77回国体陸上競技青森県選手選考会

…むつ運動公園陸上競技場(7/8(土))

男子 800m 予選

4-2 1着 松岡陽太(M1)2:01.00q

男子 800m 決勝

1-2 7位 松岡陽太(M1)1:57.33

第90回兵庫県陸上競技選手権

…ユニバー記念陸上競技場(7/10(日))

男子走高跳決勝

9位 嶋崎雄飛(3)1m95

◎自己ベスト更新者(6/19~/7/12)

- 男子 100m
根本大輝(3) 11.65(+0.9) 北日本 IC(7/2)
米井潤風(M1) 12.04(+0.9) 北日本 IC(7/2)
- 男子 200m
吉田陸人(4) 23.00(+0.7) 北日本 IC(7/3)
佐藤芳樹(5) 22.73(+1.6) 北日本 IC(7/3)
上村赳之(M1) 21.87(+0.5) 群馬県選(7/3)
- 男子 300m
斉藤宥哉(3) 34.16 [部記録]
宮城県選(7/7)
- 男子 400m
佐藤芳樹(5) 49.70 北日本 IC(7/2)
斉藤宥哉(3) 48.06 茨城県選(7/1)
- 男子 800m
大塚光陽(2) 1:53.99 北日本 IC(7/3)
千葉琢巳(4) 1:55.49 宮城県選(7/8)
松岡陽太(M1) 1:57.33 青森県選(7/10)
- 男子 1500m
村松兼志(M2) 3:55.57 宮城県選(7/9)
米井潤風(M1) 4:48.15 北日本 IC(7/3)
- 男子 10000m
児玉健太(4) 33:35.99 北日本 IC(7/2)
- 男子 400mH
岡田幹太(3) 54.00 宮城県選(7/9)
- 男子 4×400mR
斉藤(3)-佐藤千(4)-佐藤芳(5)-加地(M2)
3:12.88 [部記録] 宮城県選(7/8)
- 男子走幅跳
根本大輝(3) 6m72(+1.4) 北日本 IC(7/2)
- 男子棒高跳
島村葵惟(1) 4m50 茨城県選(7/1)
- 男子砲丸投
川内蒼馬(2) 9m70 北日本 IC(7/3)
- 男子円盤投
米井潤風(M1) 31m71 北日本 IC(7/3)
- 女子 800m
菅田理乃(2) 2:12.61 [部記録]
宮城県選(7/8)
- 女子 110mH
柄澤菜々美(M2) 16.40 茨城県選(7/2)
- 女子 400mH
山崎萌々子(4) 1:01.41 [部記録]
宮城県選(7/9)
- 柄澤菜々美(M2) 1:05.83 宮城県選(7/9)
- 女子 4×400mR
柄澤(M2)-山崎(4)-原田(2)-菅田(2)
3:55.80 [部記録] 宮城県選(7/8)
- 女子ハンマー投
平谷めるも(1) 41m48 [部記録]
大阪選手権(6/24)
- 女子円盤投
畠山千果(4) 31m83 北日本 IC(7/2)
- 女子砲丸投
畠山千果(4) 11m70 [部記録]
北日本 IC(7/2)

◎今後の予定

- 7月30~31日 全国七大学対校陸上競技大会 …仙台
- 9月9~12日 日本学生陸上競技対校選手権大会 …京都
- 9月26日 全日本大学駅伝東北地区選考会 …北上

◎編集後記

今号が任期内の最後の編集となりました。観戦記を提出してくださった選手の方々、OBOG通信の久保正樹先生、ならびに編集補助に入ってくくださった牧野雅紘さん、酒井健さんに感謝を申し上げます。

仙台開催の七大戦まであとわずかになりました。チーム目標である総合優勝を目指して選手、マネージャー、スタッフが一丸となって精励してまいります。
変わらず東北大学陸上競技部の応援をよろしくお願いいたします。

文責 OBOG 通信担当 安藤彩澄
編集補助 牧野雅紘、酒井健